

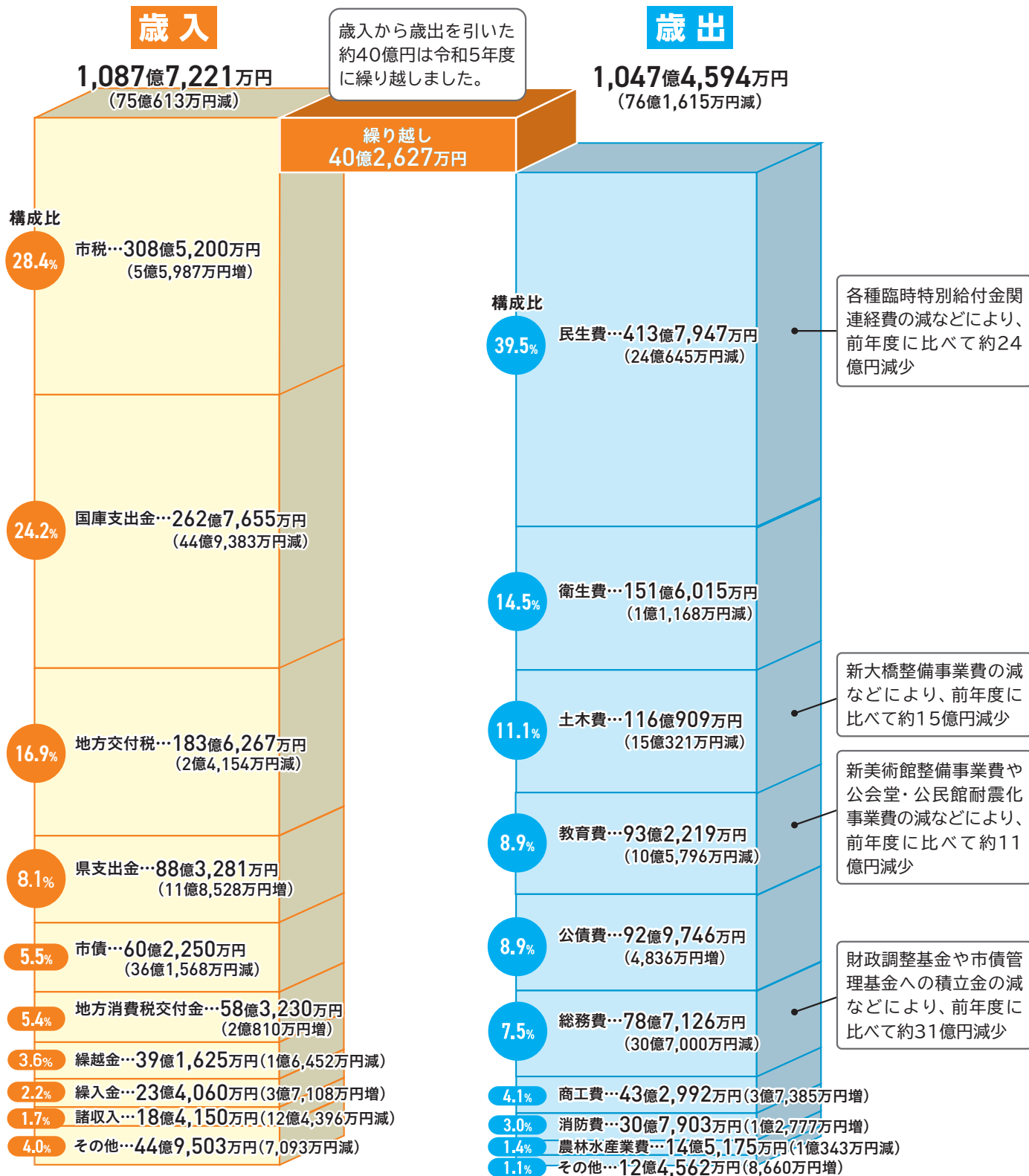
令和
4年度
決算

八戸市のお金のつかい方

☎ 財政課 ☎ 43-2154 🌐 市ホームページ内で「財政」を検索

市では毎年、1年間の歳入(収入)と歳出(支出)の結果をとりまとめた決算の状況について公表しています。これからも安定した財政運営を継続していきますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

一般会計 福祉や教育、公共事業など、市の基本的事業の収入・支出を経理する会計です。
※()内は対前年度比



特別会計

一般会計とは別に、特定の事業における収入と支出を経理する会計です。市には12の特別会計があります。

会計名	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	224億9,846万円	219億3,437万円	5億6,409万円
介護保険	219億 547万円	211億3,378万円	7億7,169万円
後期高齢者医療	30億8,199万円	29億9,857万円	8,342万円
学校給食	21億9,422万円	20億8,076万円	1億1,346万円
都市計画土地区画整理事業	18億5,346万円	18億1,672万円	3,674万円
産業団地造成事業	4億5,282万円	4億5,231万円	51万円
地方卸売市場八戸市魚市場	2億8,790万円	2億6,965万円	1,825万円
中央卸売市場	2億3,699万円	2億3,059万円	640万円
国民健康保険南郷診療所	1億9,903万円	1億6,848万円	3,055万円
駐車場	1億7,100万円	1億6,014万円	1,086万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1億3,671万円	8,636万円	5,035万円
霊園	5,378万円	4,983万円	395万円



財政指標

地方自治体の財政が健全に運営されているかどうかを判断する指標として、「健全化判断比率」と「資金不足比率」があります。

【健全化判断比率】

指標	内容	財政健全化法における基準		
		八戸市	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.25%	20%
連結実質赤字比率	全ての会計を合算した赤字の割合	赤字なし	16.25%	30%
実質公債費比率	市税など、使いみちの特定されない歳入に対する負債返済額などの割合	8.6%	25%	35%
将来負担比率	市税など、使いみちの特定されない歳入に対する将来負担すべき負債の割合	96.3%	350%	—

国が定める
基準をクリア
しています



【資金不足比率】 ※公営企業の資金不足額を営業収益規模と比較した割合

公営企業は、資金不足比率が経営健全化基準の20%を超えると、経営健全化のための計画をつくり、経営の立て直しに取り組む必要があります。市では3年度に引き続き、資金不足額がない状態です。

なお、自動車運送事業(市営バス)、市民病院事業、下水道事業の収支決算報告については、広報はちのへ11月号をご覧ください。

お金の使い道

市民1人当たりの支出額は47万7,000円でした。

※3月末の人口をもとに一般会計で計算

使い道	1人あたりの支出額	使い道	1人あたりの支出額
高齢者や障がい者、子どもの福祉など	18万8,000円	戸籍証明書発行などの窓口業務、選挙など	3万6,000円
保健、医療、ごみ、し尿処理など	6万9,000円	商工業の振興など	2万円
公園、道路、河川の整備など	5万3,000円	消防、救急など	1万4,000円
学校教育や生涯教育など	4万2,000円	農林水産業の振興など	7,000円
市債(市の借入金)の返済	4万2,000円	議会、雇用対策など	6,000円